

# が ん ば

島三小育友会報  
発行部  
報部  
発  
広

〔第57号〕



寒さなんか

まけないぞ!!!

—元気に校庭を走る三小ッ子—

ごあいさつ

三小教頭 下田昭明

深江町の小林小学校より、はからずも私のような未熟者が、立派な教育活動を推進している本校に転動を命ぜられた十月一日着任いたしました。それから早いもので、二ヶ月がたちました。その間の育友会のすばらしい活動には感心させられました。

主に行われた行事として、運動会、町内対抗バレーボール大会、女子子どもクラブ対抗フットベースボール大会等における、役員の方の夜おそくまでの協議、準備をはじめとして、親さん達は積極的に自分達のものとして参加し、町内の子どもを面倒をよく見ていられました。

育友会のこの活動からして、この親さん達に育てられる島原三小の子どもは、必ずや正しく、立派に成長するものと思えます。子どもは、先ず家庭で育てられ、特に母親の影響は大きく、次に、社会——町内、隣り近所——で育てられ、次に、学校において教育されます。自分の子どもならば、すこやかな成長を望むならば、町内の子どもはすこやかな成長が必要でしょう。

一人は全部のために、全部は

一人のために努力することが大切だといわれます。子どもは健全な成長を祈って、大変でしょうが、お互いの家庭で、町内子ども会ががんばりましょう。次は、着任して三日目の感心したことです。私は体育館に用事で行き、職員室に帰って来るときのことで、廊下の片隅に十センチ四方程の紙くずが落ちていました。拾って三歩ほど歩いたとき、近くにいた女の子が先生、それは、私が捨てておきましたよと紙くずを渡すように言いました。私は瞬間、どうしようかと思案しました。自分が持って行って紙くず箱に入れようか、それとも、この子どもに渡すべきか。なんと思ひやりのある心の持ち主だろう。そして、こんなやさしい心の持ち主が一杯で、きれいな三小になることを望みながら、私はこの子どもに、お願ひすることにしました。最後に、私の信条「三はれ」を記してごあいさつとします。○三小の子どもにほれよう ○三小の育友会にほれよう ○三小の先生達にほれよう

島三小で  
「(一)に感じたこと」

親の態度

**親の態度**  
 勤めの関係で子供が寝入ったあとで帰宅するのがほとんど私です。明日の準備はしているのだから先生から伝言があったらどうしようかと宿題を見ます。答や計算が間違っている、朝登校する前に訂正させます。そんな毎日で子供と接する時間の少ない母親の私は、子供と一緒にいる時はなるべく多く話そうとして、遊んでやるように努力しています。そんな時に感じるのは、子供の口から素直に「ありがとう」という言葉は出るのですが、行儀の悪いことを

したり、乱暴な言葉を使った後、後かたづけしないでしかられた時、「ごめんなさい」というのがなかなか出て来ません。

自分が本当に悪いと思つたら「ごめんなさい」とあやまる「素直な心」、他人を思いやる「感謝の心」、「やさしい心」、どんな困難にぶつかってもくじけない、「強い心」そういう心を持つた子供に育つようにと願つております。親の生活態度を子供はいつも見ております。子供のお手本になるようにしつゝ、かきしなくては、と思つていきます。(一年生母)

「私の子どもは」

幸福

この二、三日前、参観日に学校へ行つて感じたのですが、先生の熱心な教えに心から感動して、こんな先生に教えていただけて、私の子供は本当に幸福だと思ひ家に帰つてからも、しばらくはそのことを思つておりました。もう一つ、学校がとても寒かつた事です。今は昔と違つて家がみんな暖房した家で暮らしている、学校の違いが余りにも違つたという事を考

えなければいけないのではなにかと思ひました。(三年生の母親)

おたより帳

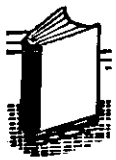
ひと昔前、自分が卒業して以来、学校とはきっぱりお別れしてました。ですのに、第三小へ長女を入学させ、新米の子供より私の方が、本當言つて不安な毎日でした。毎週、「学年だより」には、たいへんうれしく思つてます。一ヶ月の行事はもちろんの事、きめこまかく書かれています。授業内容、それと一年生の「おたより帳」です。仕事を追われ、おかげ様で子供のカバンに、目をやるクセを付けさせられました。感じた事、水着の名前の位置が絵にまで書いてあったのにバラバラだった。それから、上級生の色彩多い水着。水着にしても、部屋にさがっている袋なども、出来たら皆が同じになるよう努力されたらどうか？ 口紅、一本がまんして団体生活を頭に入れては？ (一年の母)

学級育友会

教えの  
ありがた  
さを

十月の学級部会で、五年生は「小使いの与え方と交遊関係」についての話し合いが行なわれました。私達のクラスでも、お忙しい中を二十名近くのお母さん達が見えられ、それぞれの子供さん達への、「小使いの与え方・使いみち等について活発な意見が出されました。また、交遊関係についても、いろいろとわかりました。私は、懇談会においていつも皆様のお話を伺い、早速まねをしたり、反省をしたりと自分の子育てに役立つようにと努めているつもりです。従つて何時も育友会に出席して良かったと思つて帰途に着きます。高学年になるにつれて非行の問題や、いろいろな悩みなども生れて来ると思ひますので、なるべく沢山の方に出席していただき、親同志がいつも話し合いの機会を持ち、何でも心を開いて話し合える育友会であつてほしいと思ひます。(五年生P)

三年生の子供が関節炎になり、靴等重い物を持たないよう医者から助言があつたので子供は手ぶらで行かせ、出勤前の貴重な時間を毎朝靴を学校まで届ける生活を続けています。その際に思うことだが、校内で遇う生徒の「お早ようございます」と丁寧挨拶してくれた時の気持ちのよさ、又子供の教室に入ると、これまた早々と来ている生徒達が明るい挨拶をしてくれ、机の並べ替で場所が変わっている時等丁寧な席を教えてくれる。小さいくせによくもまあと教育のありがたさを感じしむじみ感じるのだが、しつげが如何に大切か、ちょっとした配慮が一人の人間をなごやかにさせてくれ、明るい出勤につないでくれる。この頃は靴を持って行くのが楽しみの一つ。そのような学級にいる子供は幸せ、すすんで挨拶できる心を持ってほしいと願つている。(三年生父)



### 「参観日の親と子」

朝出がけに、「お母さん、今日は、絶体来てよ」と、子供が心配そうにいう。私は、「ああ行くよ」と答える。仕事をしながら時間が気になる。心の中で子供が、教室の戸を思い浮かべながら、返った通り戸をガラガラと開けて入ると、皆が、一せいに振り返り自分の母親をと、期待してがっかりする人、ニコッと笑ってホッとする子、さまざまである。みどりも私の顔を見つけると、笑顔でありがとうとうといったようだ。

私みたいに自営だったら自由がきくけど、もし勤めていたらしゃる父兄の方は、上司に申し出て、無理して見えるのだらうと思うと少し気の毒になる。だんだん高学年になると、分かるようになって、「来ないでもいいよ」と言う子もあるのでは。どこの親も出たのは山々だし、子供も低学年は、やはり期待しているのではないでしようか。もし出来るならば、午前中よりも午後の方が、私には助かります。皆様は、どんなお考えなのでしょう。

(三年P)

### なぜ叱られたのかな？

今年の二月、島原新聞に、人の子も自分の子も同じように、悪い所は注意をしていきましようと言う記事がありました。その記事があったすぐ後の事です。私の家に遊びに来ていた子供達二人が、ふと見るといなくなっていたのです。すると屋根の上を走りまわっていたのです。私はびっくりして大声で「危いからおりなさい」と、私としては注意したつもりでしたが、よほど腹がたつたのか翌朝から毎日、子供がいたずらされたり泣かされたりするようにになりました。お前のお母さんから叱られたからと言って、いたずらしたり泣かしたりしたそです。あまり長く続くようだったら、学校の方へ届け出ようかと思いましたが、一週間ぐらいいでなくなつたようです。子供達にも、よその人から注意されたり、叱られたりした時には、自分はどうして注意されたのか、叱られたのか少しは考えてほしいなあと思っています。

(三年生母)

### 服装をきまめ

最近は何が豊富になつたせいか、子供の服装にしましても派手になり、特に女兒はあれこれと言って着用して行くとの事を耳にします。小学校に始めて入学させられるお母さんが小学校も制服等があると良いのになあと言われる事を時々おききます。小學校時代は一番成長の激しい時期です。で、簡単な上っぱり「スモック」のような形と色の統一をしていただければ、御父兄の方も助かるのではないかと存じます。三小でも現在使用されている運動服のように統一していれば子供も元気に勉強・スポーツに励むてはなないでしようか。幼稚園・中学校・高等学校も制服があるの、とても助かります。当方も子供三人を三小に通算十年間お世話になりました。末子もあと数ヶ月でお別れしなければなりません。最後に服装・色の統一についての意見をのべさせて戴きました。

.....

### 思いつくままに

「ことば」使いを、もう少し丁寧にしたいものです。

(二年母)

・集団登校の時、自分の好きな子どもだけ手をつないで行く子供を見かけます。(三小P)

### ボール一個で和

先日、参観日に親子のドッジボール大会を拝見して、とてもなつかしく思われ、自分もボールを手にした衝動にかられました。

私達の小学校時代朝礼前と昼休み、又放課後と必らずドッジボールで汗を流したものです。校庭が狭くて上級生の人達といつも場所取りで喧嘩したことともつい昨日のようございいますが、遊び道具といったらボールとなわ飛びぐらいで、たまたま外国からの遊びでフラフープが流行して本当に時間を忘れて遊んだことを思い出します。

「近頃の子供は」とつい言葉がちなこのごろ、親子同志のドッジボールとは本当に、ほほえまし親子の交わりもこうしたことから深まってくものと信じます。

時代の流れによつていろいろな遊びも出てくるでしょうが、ボール一個で沢山の人数で遊べるドッジボールはいつまでもつづけて、身体をきたえてもらいたいものだと思います。

(三年生父)

### 塾について



近年塾通いの子供が多く、私の子供も通っています。自宅で学習の機会や手段に乏しい一般家庭にとり、塾通いは確かに或る効果が期待されます。

然し、この塾の所謂先生方の資質の点では残念乍ら感心出来ない人がいます。例えば、一、平気で定時の学習を休み代りの学習もしない。従つて学習は中断され効果は減少する。

二、学習日が減少しても満額の月謝を平気で収納する。しかも夏休み、正月休み等を学校並に平気で実施している等、中には真面目な学習経営者もいますが、大半は儲け主義の人のようです。父兄としては一日も早くこのような塾通いをしなくてよい充実した学校教育を期待して止みません。そして、今後機会ある毎にこのような問題で父兄と学校側との真面目な相談会、話し合いを希望するものです。そして、子供たちに本当の「よく学び、よく遊ぶ」ことを経験させたいものです。

# 十年間の 三小生活



長男の入学・卒業、長女もそして来年は三小を巣立ちます。十年間の三小時代は、育友会活動も不参加、授業参観も数える程の怠け者の母親でした。昨日長女が一度書いてと、この用紙をもってきました。学校のお世話になりました。そして子供の期待にそえる母親でなかったこの十年間の罪ほろぼしに書いてみました。学校の事といっても、長女が話してくれる先生達の事、友達達の事、給食の事などからしか知りません。いまになって、もっと学校に熱心であつたらと悔やまれます。でも、長女がのびのびと明るく育って、学校も、友達も大好きだし、特に給食がとっても楽しいと、毎日の元気な登校姿をみれば、先生達の御努力が、そして学校環境が素晴らしいものであったのだと、しみじみ嬉しく思っています。残り少ない三小生活ですが、親子共頭張って、有終の美を飾れたらと話しあっている毎日で。 (六年生母)

## 三小育友会に寄せる

### 育友会

### スポーツに

### 一考を!!

育友会で感じた事を一言申し上げます。育友会の運動でバレーボール・ハンドボールと色々あるようですが、町内の役員様が試合に出られる方をさがすのに苦労しておられるようです。一方では、強制的になつている感じがありません。私どもの家庭でも朝六時ぐらいいから夜は七・八時迄夫婦とも仕事してはいますので、練習も出られないし、又試合にも出られません。このような有様で町内の方に面倒をおかけしています。そこで私の意見を言いますと、このように役員の方々が出られる方をさがしてまで試合をする必要があるのかと考えるしだいで。 (五年生父)

## 社会体育

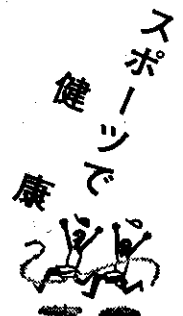
社会体育、一般の方々には馴染みのうすい言葉だと思えます。学校を離れて地域の中

での活動を言うのだそうです。私も三小に来て始めて耳にしました。以前がんばを通じて三小の中島先生から紹介がありました。今三小地区にはサッカー、バレーボール、ソフトボール等があるようですが、私の見る限りでは一部指導者の方のみで、他の方は意外と無関心のように見えます。と云うのは、私はバレーボールの中島先生、山下先生、補佐を始めて三年になりますが、正式な技術をもってあるわけではありません。ある日、クラブの練習を見に行つて先生方が用事で誰れもいなく、子供達で遊び半分にしているのを見て、それではと云う事になり今日までになつてしまいました。いつも感じるのは保護者の方々は、一部の人を除いては、まったく無関心なのが意外です。練習にしても会合、試合等においても、いつも同じ顔ぶればかりです。それでは指導して下さる方、特に学校の先生方は、授業が終わって忙がしい時間をさいておられるのに申し訳ないと思うのです。たまには子供達の練習あるいは試合を見て頂いて、指導者の方あるいは子供達に励ましの一言も掛けて頂ければどんなにかこれからも頑張らなければと力が湧いて来るかと思えます。

私の子供も三年生ですが、一年の時から水泳を始めています。県下ではトップの座にあります。(学年別十才以下) それと云うのも毎日練習を見に行き、試合の応援に行つては子供にコーチの方に言葉をかけています。三年間続いているのも、コーチの力の外にそうした親のかげの力が子供の動みになつているのでないかと思えます。町内であるいはクラブでソフトボールがさかんに行なわれているようですが、保護者の皆さんも一部指導者の方にまかせずに自ら進んで一致協力していただければよりすばらしい健全育成につながるのではないのでしょうか。 (三年生母)

## 小さなこえ

・広報紙「がんば」は、子供の教育に役立っていると思います。  
・夏休みなど、六時(午後)を過ぎても家に帰ろうとしないう子供がおおすぎます。注意しあいましょう。(三小P)



早いもので十一月も後半に入り育友会のスポーツ活動も中休みの感がする。運動会あるいはバレー、フットベイス、育友会と育友会行事が続く、育友会とはこんなに忙しいものかと思つた。が、今はちょっと一休みという処である。大会に参加して地区の人達が一体となり力いっぱいがんばつていく姿が今も目の前に浮かんでくる。お互いに助けあってチームワークのよいチームがいい成績を残したと思う。この期間中は、お互いにつき合いに張りが出て、とてども気持ちのいいものである。スポーツこれ程すばらしいものはないと思う。第一、身体の健康の為にいい。いつも仕事で体は動かしているからと言つた人がいるが、スポーツで動かすのでは格段の差があると思う。多にスポーツに親しむを持って、進んでやってみよう。これからも育友会を主にして、いままです以上にスポーツ行事を計画される事を、楽しみにしている次第です。(二年生父)

### 校内年賀ハガキ

#### 実施

##### 代表委員会

元且に配達されたのは島三小年賀はがきだけでたいへん好評を博しました校内年賀はがきを今年も実施するように代表委員会で決定し取りぐんでおります。年賀はがきは運営委員が昼休み時間を返上し、朝早くから



放課後おそくまで一枚々々丁寧に手造りをして、二万枚余りを作成し五枚十五円で発売も終了しました。一枚三円のはがきには番号がうってあり新年おたのしみ会の時に抽選をやり賞品をやるようになっております。今年も全員に参加賞があり、学用品、スポーツ用品がたくさん準備されております。

また、校内年賀はがきで出た余剰金は年末助け合い運動募金にあてております。尚、配達は元且の十時頃、

### よい子の投函を待つ町内別ポストくん

六年生の町内役員を中心にやります。区分けやいろいろな苦勞があらたにたのしみから感謝の声をかけて欲しいと思います。

### 学校給食

#### について

##### 学校給食担当



さっぱりとした白衣、帽子を身につけ、せつせと給食運

### \*校内改築に理解と協力を\*

育友会長 前山 四郎

先般「がんば」で話題になりました木造二階校舎の改築について、同窓会・三小地区町内会・育友会の三者の名前で、推進を市役所の関係の方にお願ひ致してまいりました。校長室で三者の代表が集まりまして、三者を一本化して、「島原市立第三小学校校舎改築推進委員会」を作つて推進していった方が良かったらうとの話になり、その運びになりました。第一回の推進委員会を十一月二十九日白山公民館で開き、委員長に育友会長・副委員長に同窓会長と地区町内連絡協議会長・顧問に地元選出議員の方と教育委員の山本さんがなりました。委員に同窓会から八名、町内協議会から二名、育友会から前会長を含めて十二名の方が委員になりました。育友会には副会長さん・専門部長さん・環境部副部長さんがなりました。三小の児童数は増加の傾向にあり、住所の問題・給食調理場の問題等を含めて、長期展望に立って、改築の推進をはかっていかねばならないと思ひます。会員の御理解と御協力をお願い致します。

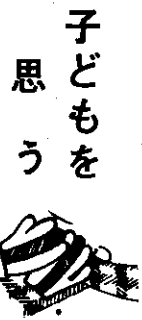
搬している。一・六年の男子、本人達は、ちよつと恥ずかしそうですが、なかなか可愛い格好の良いものです。勿論、どんな仕事にもふさわしい身仕度があるものですから、これも伊達でなく、気を引き締め、安全清潔に準備するため、必要な服装なのです。そして、そのような高学年の態度を身につけて、

を見習つて、低学年も精一ぱい頑張つています。このように、学校内で清潔に給食準備ができるのも、御家庭で洗濯して下さるおかげと感謝いたしております。

給食指導の目あては、  
一、給食を通つて望ましい基本的な習慣態度を育てる。  
二、健康安全や、食事に關する衛生的知識、態度、習慣を養う。  
三、楽しい雰囲気、食事し、明るい社交性を育てる。  
です。この事についても、皆様の御協力がなくては効果が上がられませんので、今後共よろしくお願ひします。

### 県P・九P 大会終る

去る十一月一・二日諫早に於て第十九回県P・T・A研究会開催。「たくましく、がまん強い子どもを育てるためのP・T・A活動の今日的課題を求めて」を研究主題として研究討議した。十六・十七日鹿児島に於て、第二十四回九州P・T・A研究会開催「心身ともにたくましい子どもの成長を願つて、P・T・Aの使命を探究しよう」のスローガンで研修。両大会に本校よりも参加研修した。



一年担任

心も体もまだ幼い二年生は大原則として「しかるよりほめること」をモットーとしたがよいようです。しかし、あの子をこの子と思うとき、指導やしつけのうえ、しかることも重要なファクターとなります。そこで、ここでしかりうとするときも、あの子をほめようとするときも、指導者は常にそこに教育的な意図を持って、結果を見通しながら臨むことが大切です。しかるべき結果がマイナスに出るようならしかることは無駄骨でありほめた結果増長するようでは、ほめた結果はゼロに等しいのです。ほめ方としては、  
 ○理屈に合ったほめ方を。  
 ○公平さを大切に。  
 ○皮肉なほめ方はしない  
 ○スキンシップとともに  
 ○物でつるのはさける  
 ○みんなの前ではほめる  
 ○しかり方としては  
 ○指導者がカッとよたら負け  
 ○その場で論理的に叱る  
 ○みせしめにならない  
 ○ドラマチックにしかる  
 ○子供の性格に合わせる  
 ○ユニモアのあるしかり方を

○他学級の子にも平等になどひとりひとりの子どもを、正しい道を歩かせ、立派に育てるために、二年担任は、共通理解に立って、子どもたちに対応しています。

子どもの遊び

四年担任

中島 一雄

「先生、うちの子は遊んでばかりで、もっとも勉強しません。宿題をもっと」と耳にします。が、ふっと思うのです。ほんとうに遊んでいるのかと。昼休み、校舎内外をのまわりしてみることもなく、ボンヤリと一人、二人三人で過している子が意外と多くいるのです。家ではどうでしょうか。ぼんやりとテレビを見て遊んでいる子が多いのではないのでしょうか。  
 「ころんでも、瞬間、パッと手が出ず、おデコをゴツン」とやっけてしまいう子が、全国に増えているそうです。筋肉に命令を発する神経系の発達する小学生時代、屋外で遊ぶことの少なくなつたことを示しているようです。  
 去る十月、三小児童五一六人に遊びについての調査をしました。(土、日を除く、天氣の良い、下校後)

二、三紹介してみます。まず、「どこで遊ぶか」は、何と「家の中」が一位で四〇%、一人か兄弟とのみで過しています。六年女子になると、二〇%が「遊ばない」と答えています。(その原因や実態は紙面の都合で省略)  
 遊びは子どもの生活そのもの、遊びは学習とよく言われています。遊ばない、遊べない子はどんなに成長していくのでしょうか。次に「遊び相手、仲間」は、「どうなのでしょう。遊ぶ人数は二〜三人が一位で六〇%を占め、六年生では八〇%、遊び相手も全校児童の八〇%が殆んど、同学年、それも同じクラスの子が相手という実態です。例えば、馬飛びをした場合、大きい子は、時にはいじめっ子であったとしても、小さい子が遊ぶときは体を丸めて小さくなってやりました。そんな小さい仲間に対する思いやり(共同的性格)が、現在、同学年という同年令で条件が同じなため、お互い誰が強い(競争的性格)しか、生まれ得ない状況です。遊びを通して学ぶ大切なものが、欠けているのではないのでしょうか。  
 「勉強/勉強」と子どもを追いまくらざるを得ない社会情勢もあります。何もしてないで、校庭でボンヤリと過したり、ボンヤリとテレビを見て遊んでいる子ども達や、遊ばなくても遊べない子ども達

を見るにつけ、親、学校が、「遊び」の意味について考える必要にせまられているのではないのでしょうか。

保健室だより

子どもの目の健康を守るのはお父さん、お母さん、あなた方です

S54 視力測定結果 (第一回目 4月 第二回目 10月)

学 年		1	2	3	4	5	6	全 校
異常者 (0.9以下の者)	一 学 期	19	21	23	16	36	31	146
	二 学 期	15	23	23	17	37	29	144
一・二学期比較	全 治 した者 (一学期0.9以下で二学期1.0以上になった者)	8	2	3	2	2	7	24
	新たに異常が発見された者 (一学期1.0以上で二学期0.9以下になった者)	4	4	3	3	3	5	22
要めがねと診断された者		1	4	6	5	13	12	41

視力異常児の推移 (S48~S53年度)

年 度	昭和48年度	49年度	50年度	51年度	52年度	53年度	54年度
視力異常者数	210	173	164	150	148	147	146

定期健康診断より

視力測定は、毎年二回全児童に実施し、早期発見、早期治療の効果を期待しています。全国的に増加しつつある視力異常児が、本校では、ここ数年、減少の傾向にあります。視力異常児（〇・九以下）には検査直後、家庭連絡をしています。すでに受診され専門医の先生から個々に応じて適切な治療をうけ、視力回復へと努力されていることと思えます。やはり、早期発見、治療の効あり、一学期検査後わずか数ヶ月間で正常視力へと治った人が二十四人もいます。

何しろ、全治するまで根気よく通院し、目ぐすり、のみぐすり、日常生活の指示を守り、毎日努力したかいがあったからだと思います。

二学期の視力測定の結果をみますと、視力が急におちた人が二十二人もいました。この新発見の異常児に共通していることは、姿勢、テレビ、髪型等に問題点があるようです。

異常児のうち約三割が「要メガネさん」なのに、常時かけていない人もいます。「メガネは？」と尋ねてみる

と、「お家の机の中になおしています」「どうして」「忘れていました。……」とせつかく高価なめがねを買ったお母さん、勿体ない話ですね。キチンとかける習慣を身につけてみてください。

お子さんの目の健康を守るため、勉強時の姿勢、照明、テレビの見方、身のまわりのせいけつ等、お母さんのあたたいくちでよろしくご指導くださるようお願いいたします。

**!! お訪ね しました**

**専科の先生!**

「せんか先生」ノ子ども達が言うのを耳になさったことはありませんか? そう、「専科先生」なのです。学級を持たれず、専門科目だけを教えていらっしやる先生方のことなのです。父母とは直接の交流のない先生方ですが、中学年から高学年にかけて、殆んどの子どもがお世話になる三人の先生方を御紹介しましょう。

**音楽**

音楽専科  
山下みよ先生  
習っている級数  
四年生 全  
五年生 全  
六年生 全クラス  
前任校長四小よりいらして五年目。「三小の子どもは元気がよいですよ。それに知識が豊かで、常識あるお子さんが多いですね。」先生の第一声である。四小よりいらした時とくに強くお感じになったらしい。四年生の頃はとてもきれいな声が出るし、楽しく歌っているのに、五年・六年と高学年になるにつれて、なかなか唱わなくなってしまう。特に男子生徒は此の頃より、「変声期」に入る子もいて、スムーズに歌わなくなる。近頃の子どもは楽器を使うことも、非常にうまく素晴らしい才能を持っている。グループ別の授業をしてみると同じ音楽でも各々に違った表現をする。グループ学習によって力を合わせることを学ぶ反面、その中に不真面目な子が一人

でもいる。全体にグラツキが出て来ることもある。やる気のない子を、どのようにして「やる気」をおこさせるか。これが常に先生の悩みだとおっしゃる。

音楽は才能と努力である。才能だけで上達はありえない。ピアノのおけいこ等も「譜」が読めるようになった時点で始めるのが望ましく、その前の段階では、きれいな音楽を沢山耳に入れてやるのが大切だ。

**理科**

○理科専科  
山田スミ子先生  
習っている級数  
五年生 二  
六年生 三  
本校においてになって五年目。高学年を主に教えていらっしやる先生の教育信条と言ふようなものをお伺いしたい。生徒と教師とは、心と心のつながりが最も大切なことであり専科の教師は、その科目だけでの接触しかなく心の触れ合いが薄い。その中で専科教師の御苦労はたいへんの

ようだ。音楽と違い理科の場合、高学年になるにつれ男子の方が興味を示して来る。「好きこそ物の上手なれ」と言う通り、物事に興味を持つことが望まれる。星に、土に花にと興味を持った時、まわりの人がそれに出来るだけの協力をしてやることにより、知識の増す喜びを味わうものだ。小学校においては、中学校で学ぶための底辺作りが大切な仕事である。

**家庭**

○家庭科専科  
蒲生くるみ先生  
習っている級数  
五年生 全  
六年生 全  
江川先生の産休代教として三小にいらして早くも数ヶ月まだ当分は三小の子どもとお付き合い願えるらしい。

男子生徒は、まじめな態度をとるのが恥かしいのか? 個人的にはとても良い子ばかりである。家庭科は五・六年の間に人間の衣・食・住についての一通りを勉強する。器材の不備の中で不自由をしな

がらのお勉強である。食生活については、男女の別なく生きる為に必要な知識を身につけているので、家庭でも役立ててほしい。

最後に、各先生より家庭へのご希望を一事。

○音楽——テレビの「名曲アルバム」を親子で聴いてほしい。

○理科——子供が自然に興味を持つか、経験した量と理論をもとに理科の基礎作りに協力してほしい。

○家庭科——男だから、女だものではなくして一応のことは男女同じようにやらせたい。ひやかさないでほしい。

(広報部)

### 非行防止の

### チェックポイント

### 日ごろの言動に注意を

鳥三小

小峰 忠与士

冬休みは、お正月・クリスマス、それにもなう多額のお年玉、クリスマスプレゼント、それに学校からの解放、保護者の年末年始による多忙からの子供のしつけの放任等

悪条件が重なり、一番非行がおきやすい時です。

三小の子でも、万引(商店の品物、家のお金)、たかりおどし、車荒し、ゲームセンター通い等、小学生の子供と思われないことを平気でやっています。おとうさん、おかあさんお宅の子供さんはどうですか。

このような子どもさんの親と話をしてみると、自分の子供が非行化していると知らないうちに親が多く、うちの子に限っての安心型が大半年親でした。

親が、日ごろから子供の態度にもっと注意をむけ、非行を早期発見し、正しい指導をすることが必要だと思います。

注意点のチェックポイントをあげてみると次のようなものです。

- ① 気どった態度や、人をくったような態度をしはじめ
- ② 急にませた口をきいたり大人っぽい振る舞いを見せ
- ③ 子どもの性格によって非常に不きげんになったり
- ④ 流行語や下品な言葉

やみに使うようになる。

- ⑤ うそが多くなる。
- ⑥ 勉強をしなくなる。
- ⑦ 年上の友達ができる。
- ⑧ 悪い友達は、口笛などの合図で呼び出し、家の人に見つからないようにする。
- ⑨ 外出が多くなり、外出する行き先を聞くと、はっきり言わずに、いいかげんにうそを言っています。
- ⑩ 金遣いが荒くなる。
- ⑪ 所持品に疑点が生じる。
- ⑫ 夕食時に空腹を訴えない

以上の点はあくまで目安ですが、「うちの子に限って」という前に、日ごろから、子どもの言動を注意し、家庭内での親子の触れ合いを通じて非行化への芽をつみ取る努力が必要だと思います。

最後に、冬休みを上手にすごさせる勉強と生活両方のポイントをあげて見ます。(旺文社お母さんジャーナル参考)

- 勉強の面では、冬休み全体を三つの部分に分けて、計画をたてればよいと思います。
- ① 冬休みの始まりから大晦日をのぞいて復習を中心に普通のペースでの勉強でいいと思います。大晦日は新年を迎えるための家庭内

のお手伝いの日としたいものです。

- ② 三が日は、勉強を忘れてゆっくり遊ばせる。
- ③ 四日から冬休みのおわりまでは、予習を少しでもいいからやらせておく。このように少しでも勉強させておくと、お正月ばげが三学期までつづくことはありません。

- 生活面では
- ① だらだら遊ばせないで、生活にリズムとけじめをつける。
- ② 食べすぎに気をつける。
- ③ 運動不足を解消させる。
- ④ 家のお手伝いをさせる。
- ⑤ お手伝いすることによって子供達が何かを学んでいくようにすることが、本心に有意義な冬休みのすごさせ方だと思います。

した。

本心に有難度うございました。全部のご投稿を今回一度に掲載することが出来ませんでした。次回に残りの分は廻らせていただきますので、ご了承下さいませ。年一回の企画ですが今後このような機会を充分ご活用下さるようご協力お願いします。校舎改築問題なども今から会員の協力が、大きく「モノ」を言うことになると思います。専科の先生方のお話を「インタビュー形式」で紙上にご披露したいと思いましたが、何分限られた紙面の都合上、要点のみとなり先生方のお気持ちを十分文章に出来なかつたこと申し訳なく思っております。九P、県P大会ともに参加させていただきましたが、我が三小育友会で現在各専門部が活動している状況は、他校に比べて決して「引け」をとらぬものと感じました。今回の内容についてのご意見・ご希望などお待ちします。良いお年をお迎えください。

### 編集後記



新年も目の前に迫り、明日から冬休みに入ります。十一月皆様にお願い申しました、「声」の

